

○ 新設された〔共通事項〕とは、どのようなものか？

小学校学習指導要領の音楽科の主な改訂の要点より

〔共通事項〕については、音楽を特徴付けている要素や音楽の仕組みを聴き取り、それらの働きによって生み出される音楽的な面白さやよさを感じ取ること、音楽に関する用語や記号などを音楽活動と関連づけながら理解することなどを具体的に示した。〔共通事項〕は、そのみを授業で扱うのではなく、表現及び鑑賞の各活動の中で扱うものである。

〔共通事項〕は、「A表現」及び「B鑑賞」のすべての活動において、共通に指導する内容を示したものである。（現行学習指導要領では、リズム、強弱、音の重なり、拍の流れやフレーズなど、「A表現」と「B鑑賞」の中で、個別に示されていた。）

指導に当たっては、「A表現」及び「B鑑賞」の各活動の中で指導し、共通事項に示す内容のみを扱う学習にならないように配慮することが必要である。

〔共通事項〕は具体的には以下のような内容で示されている。

〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。

アは、音楽を形づくっている要素のうち、**(ア)の音楽を特徴付けている要素**及び**(イ)の音楽の仕組み**を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ることについて示している。

(ア)の「**音楽を特徴付けている要素**」とは

【低学年】・・・音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れやフレーズ

【中学年】・・・低学年で示したものに加え、音の重なり、音階や調

【高学年】・・・中学年まで示したものに加え、和声の響き

(イ)の「**音楽の仕組み**」とは

【低学年】・・・反復、問いと答え

【中学年】・・・低学年で示したものに加え、変化

【高学年】・・・中学年までに示したものに加え、音楽の縦と横の関係

〈指導のポイント〉

楽曲の気分や雰囲気、味わい、表情を感じ取ったり、曲想にふさわしい表現を工夫したり、曲想を生かした表現を工夫したりするためには、楽曲の構造を感じ取るような指導の工夫が必要である。

イ 音符，休符，記号や音楽にかかわる用語について，音楽活動を通して理解すること。

イは，音符，休符，記号や音楽にかかわる用語を音楽活動を通して理解することについて示している。

「音楽活動を通して」とは，音符，休符，記号や音楽にかかわる用語を音楽の学習活動の中で実際に生かすことのできる知識として理解することの重要性を述べている。

〈指導のポイント〉

音符，休符，記号や音楽にかかわる用語を含んだ楽譜を読むことの必要性を感じることができるように指導することが大切である。